

2023年8月9日

株式会社 四国銀行

## 株式会社日本格付研究所の格付取得（格上げ）に関するお知らせ

株式会社四国銀行（頭取 小林達司）は、株式会社日本格付研究所（JCR）から、現状より1段階引上げとなる発行体格付「A」を取得しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行はこれからも健全経営に徹するとともに、金融を基盤とする質の高いサービスの提供に努め、地域と社会の発展に貢献してまいります。

### 記

#### 1. 格付の内容

- |            |                  |                       |
|------------|------------------|-----------------------|
| (1) 格付     | 「A」（シングルAフラット）   | （従来格付「A-」（シングルAマイナス）） |
| (2) 格付の種類  | 長期発行体格付（※）       |                       |
| (3) 格付の見通し | 「安定的」            |                       |
| (4) 格付付与日  | 2023年8月4日（金）     |                       |
| (5) 格付機関   | 株式会社日本格付研究所（JCR） |                       |

※長期発行体格付とは、具体的な債券を特定せず、現在背負っている無担保の債務または将来背負うであろう不特定の無担保債務を包括的に捉えて、債務履行能力を格付したものです。

#### 2. 格付事由（株式会社日本格付研究所ニュースリリース <https://www.jcr.co.jp>）

今回の格付は、以下の点などが総合的に評価されたものです。

- (1) コンサルティングビジネスの強化や経営効率化の推進により、当面も基礎的な収益力は底堅く推移するとみられ、新たな収益源の確保に向けて、高度金融領域の態勢を強化する方針であり、内部留保の蓄積により、実質的な資本の充実度は現状程度の水準を維持することが可能とみられる。
- (2) 2023年度第1四半期で外債運用における逆ざやを解消していること等を踏まえれば、コア業務純益は底堅く推移する可能性が高い。中期的に、大和証券との協業の着実な進展や、高度金融領域の態勢強化が収益の増加にどの程度結びつくか注目していく。
- (3) 危険債権に対して保守的な引当を行っており十分な保全が効いている。また、有価証券運用では国内外金利の上昇を受け、外貨建債券の圧縮を軸にポートフォリオの再構築を進めている。金利リスクは減少しており資本対比で問題ない水準にある。
- (4) 資本は着実に厚みを増していくと考えられ、貸出資産や有価証券にかかるリスク対比でみた資本の余裕度は、Aレンジ相応の水準を維持できるとみている。

以上